

# 岐阜県家庭教育学級実践事例

## 在宅取組型(中学校)

学校名等	垂井町立不破中学校
実施日時	令和8年1月21日(水)~23日(金) 7:50~8:15
会場	不破中学校 昇降口
参加人数	保護者 300人、生徒 500人(対象者数)
学習課題(分野)	環境・資源循環・リサイクル/SDGs(命の大切さ)
運営者の願い	使用済み使い捨てカイロの回収活動を通して、身近な生活用品も資源として循環させられることを学ぶ機会とする。回収したカイロは、環境保全活動を行う(一般社団法人)Go Green Japanへ送付し、水質浄化剤・土壌改良剤として再活用される。参加者が「自分たちの行動が環境を守ることにつながる」と実感し、家庭や地域でできる環境配慮の取組を継続していくことを願う。

### 学習の内容

#### <実施の概要>

不破中学校 PTA の活動の一つとして、1月21日から3日間、使用済み使い捨てカイロの回収活動を実施した。回収は、生徒の登校時に行えるよう、昇降口に回収箱を設置した。回収したカイロは取りまとめのうえ、(一社)Go Green Japanへ送付した。段ボール2箱分になった。

#### <活動の工夫>

- ・ 回収箱を昇降口に設置し、3日間の期間を設けることで、持ち寄りやすい環境を整えた。
- ・ 職員室の前に、掲示物や実物展示を用い、回収の目的(再資源化の流れ)を視覚的に伝えた。
- ・ 回収後の行き先を明確にし、「集めて終わり」ではなく資源循環のイメージを持てるようにした。

#### <得られた効果>

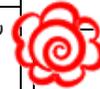
- ・ 家庭や学校で日常的に使う物が、回収・再利用することによって資源循環につながることを実感する学級になった。
- ・ 生徒が「自分たちの活動を環境保全につなげられないか」と考える契機となり、主体的な取組へ発展する可能性が生まれた。

#### <参加者の感想>

- ・ 私たちが回収したカイロは、環境保全活動を行っているGo Green Japanさんに送られ、水質改良材、土壌改良材として再活用されます。子どもたちには『身近なものでも資源になる』『自分たちの行動が環境を守ることにつながる』ということを考えるきっかけにしてほしいと思っています。
- ・ 使い捨てカイロをただ捨てるのではなく、リサイクルに回すことで、環境を守ることにつながるのだと知りました。生徒会活動は学校をより良くするための活動していますが、今回の活動を得て、自分たちも環境を保護できるような活動が出来ないかを考えて取り組んでいきたいです。

#### <協力・支援>

本活動の送付等に係る費用については、株式会社エイワの支援を受けた。



#### 身近な生活用品から学ぶ

使用済み使い捨てカイロを回収し、送付してリサイクル(水質浄化剤・土壌改良剤)につなげることで、「ゴミと思っていた物が資源になる」「行動が環境保全につながる」を実感できる学習になった。



#### 参加しやすい仕組み

事前周知(文書・貼り紙・前日の校内放送)と昇降口で3日間、生徒の登校時間に実施することで、協力しやすい導線を作った。

1日目はPTAが昇降口前で回収していたが、2日目以降は、雪の影響もあり、昇降口内部で箱だけ設置し、無人で回収を行った。